


6	データの見方	年 組 番	
		氏名	

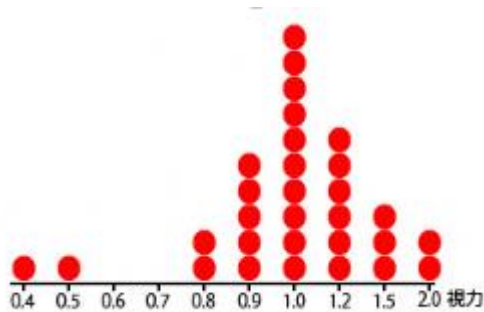
1 平均値

すべてのデータの合計を求めて、データの個数でわった平均の値

※ データの個数が違っていても、平均値を使えば比べることができる。

2 ドットプロット

1つ1つのデータを点で表し、数直線のめもりにあわせて並べた図



あきらさんのクラス30人の視力と人数のグラフ

3 最ひん値、中央値

最ひん値・・・データの中で最も多く出てくる値のこと。

中央値・・・データを大きさの順に並べたとき、中央にある値のこと。

4 度数分布表

データをいくつかの区間に区切って整理した表のこと。この区間のことを階級といい、それぞれの階級に入るデータの個数を度数という。

得点(点)	人数(人)
以上 未満 80~100	25(100点も含む)
60~80	44
40~60	48
20~40	29
0~20	4
計	150

□の中に言葉や数を入れましょう。

階級は □ つに分かれています。

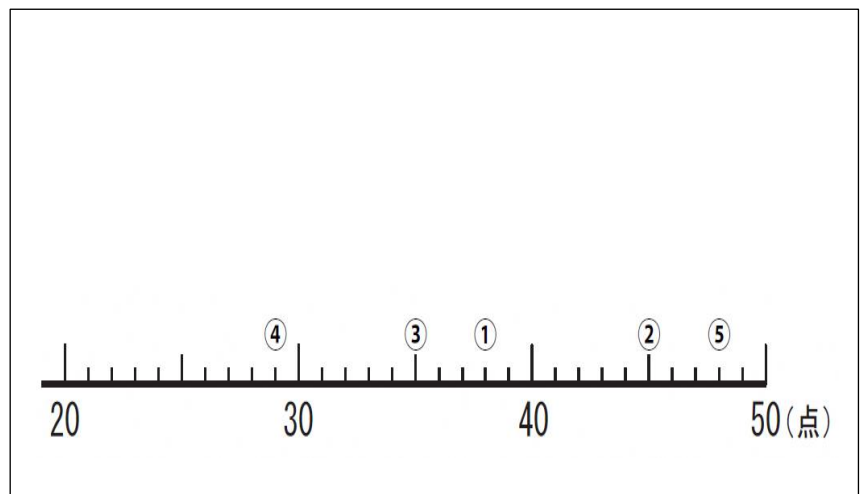
一番多い度数は、□ と □ の間の階級です。

6	データの見方	年 組 番	5 問
		氏名	

① 次の表は、50点満点の計算テストの結果を表しています。

点数をドットプロットに表しましょう。

番号	点数	番号	点数
1	38	11	41
2	45	12	37
3	35	13	28
4	29	14	30
5	48	15	50
6	40	16	41
7	49	17	45
8	41	18	32
9	48	19	34
10	35	20	43



② 中央値と最頻値さいひんちはいくつでしょう。

中央値

最頻値

③ 平均値を求めましょう。

(四捨五入して、1/10の位まで求めましょう。)

式

答え

およそ 点

6	データの見方	年 組 番	17 問
		氏名	

ある学校の1組と2組の50m走の記録を表にまとめました。

1 組				2 組			
No	記録	No	記録	No	記録	No	記録
1	7.9	10	8.2	1	8.9	10	8.5
2	8.4	11	8.7	2	8.0	11	7.9
3	8.1	12	7.5	3	8.8	12	8.7
4	7.6	13	9.2	4	7.7	13	7.4
5	8.9	14	8.2	5	8.6	14	9.6
6	8.0	15	8.8	6	8.3	15	7.8
7	9.3	16	8.5	7	9.4	16	8.4
8	8.6	17	8.0	8	8.6		
9	9.0	18	8.3	9	8.1		

① 上の記録を度数分布表に整理しましょう。

記録(秒)	度数(人)	
	1組	2組
以上 未満		
7.0~7.4		
7.4~7.8		
7.8~8.2		
8.2~8.6		
8.6~9.0		
9.0~9.4		
9.4~9.8		
合計		

② 1組の50m走の記録の平均は8.4秒です。2組の平均を求めましょう。

四捨五入して $\frac{1}{10}$ の位までのがい数で表しましょう。

2組の平均は です。

6	データの見方	年	組	番
		氏名		
9問				

次の数字はある学級の児童16人の算数のテストの得点です。

No	得点	No	得点	No	得点	No	得点
1	85	5	53	9	75	13	80
2	81	6	73	10	70	14	99
3	77	7	92	11	66	15	67
4	95	8	64	12	85	16	70

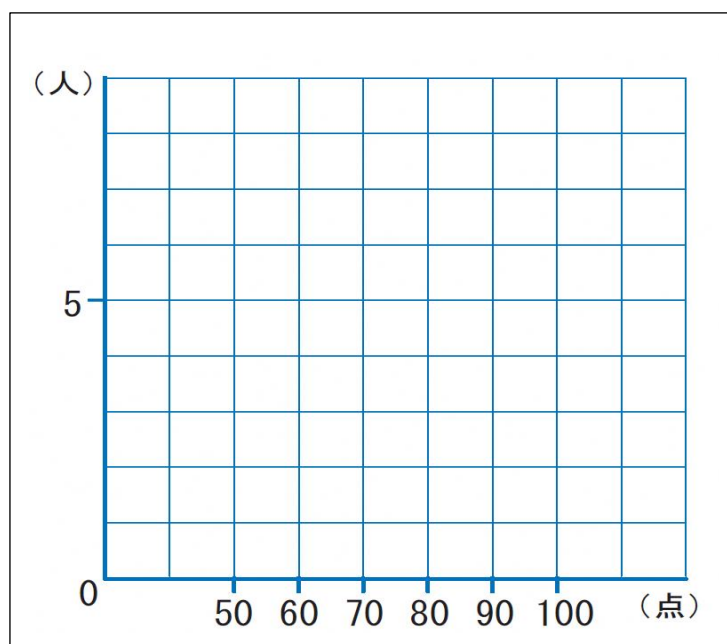
1. 平均点を求めましょう。

式

答え

2. 算数のテストの結果を、度数分布表に整理してから、柱状グラフで表しましょう。

得点 (点)	度数 (人)
50 点以上 60 点未満	
60 点以上 70 点未満	
70 点以上 80 点未満	
80 点以上 90 点未満	
90 点以上 100 点	
合 計	16



3. 度数がもっとも多いのは、何点以上何点未満の階級でしょう。

点以上
点未満の階級